

2022年6月26日(日) マイカ 豊漁丸

中潮:旧5月28日 満潮 11:31(36cm) 干潮 19:13(12cm) 満潮 翌日02:32(29cm) 敦賀

私 マイカ 5杯

ツレ マイカ 9杯

17時00分 集合、受付 釣り座のくじ

18時00分 出船

19時13分 干潮 (12cm 敦賀)

11時30分 納竿



【マイカ仕掛け】

イカメタル

竿 ダイワ エメラルダス X イカメタル 65ULB-S

リール バルケッタBB 200HG PEライン0.5号 200m

竿 ソルパラ イカメタル 鉛スツテ10~30号

リール バルケッタBB 300HGDH PEライン0.5号 200m

リーダーはいずれもフロロ3号を1ヒロ

鉛スツテとドロPPERまでの間は1.2m。ドロPPERのハリスは3cm。



さっそく、イカ刺しで食べた。美味しかった。

オモリグ

竿 ソルパラ オモリグ おもり 12号~40号

リール レガリスLT 4000D-CXH PEライン0.8号 200m

→ 今日はオモリグを使わなかった。

<ドラッグ調整>

※マイカは足が弱く、マイカが強く引くと、マイカ自身が引く力で足が切れてしまう。リールのドラッグはゆるめにした。合わせる時は親指でスプールを押さえながら行う。

【料金】 船代 ¥12,500 氷付き

【様子】

○女性がいるグループは女性用トイレの近くということで、ミヨシの方に座ることになった。

○天気はくもり、風はほとんどなし。途中、雨が少し降ってきた。

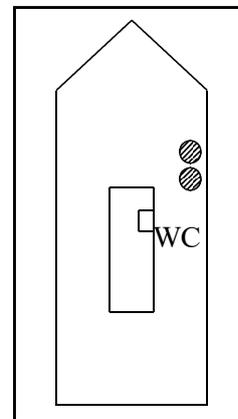
○「鉛スツテは25号。水深50mより深い所はやらないでください。エソにやられて、お祭りになります。」

○錨をおろしてかかり釣りだったが、8時30分ごろ、イカが釣れ出したところに、パラシュートによる流し釣りとなった。

○流し釣りになってから、鉛スツテ20号と指示があった。

○ツレには特別に15号でいいよと言われた。15と印のある鉛スツテを渡した。

後で見たら、15号より小さいスツテだった。このスツテでも仕掛けが真下に落ちていった。



- ツレはこれで3連続ヒットとなった。水深23mだった。すべて、15と印のある赤白の鉛スツテだった。
- ツレはこのスツテに掛かることが多かった。
- 周りが釣れているのに自分だけ釣れない。やっと一杯取れた。
- 結局、自分は5杯だった。これといったヒットパターンはなかった。

【釣り方】

(1) 前回の記録をやってみた

①スツツと竿先大きくあおって止める。

②ゆっくり竿先を下げてくる。

この時、軽くなったり違和感を感じたりしたら、当たりであるので、合わせる。

下げてくる途中で止めることもあった。

③一番下まで下げたら、少し待つ。

ここで当たることも多かった。

※今日は「②ゆっくり竿先を下げてくる」の下げるスピードが遅すぎるように思った。

(2) 竿頭になった人の釣り方(以前の日記から)

マイカは、“ソフトな誘いとロングステイ”ということから、

①竿を2回あおって、20秒～30秒止める

②当たりがなければ、もう一回あおる。少し待つ。ここで当たりがないか、確認する。

③当たりがなければ、竿をあおり、竿先を下げながら、3回リールを巻く。(仕掛けを1.5mほど上げることになる。①にもどる。

<参考>

○船長より「マイカはステイでのつてくる。」

○スタッフさんより「ステイで7秒待って当たりがなければ、次の棚を探る。」

【次回に向けて】

○釣り方は【釣り方】(1)(2)を織り交ぜる

○ドロPPERはイーゼースリム赤緑で、鉛スツテは赤白からスタートする。